

# 直島 アクセスマップ

## 宮ノ浦エリア (ページ2)

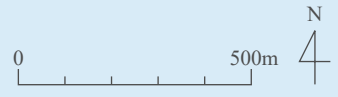
## 本村エリア (ページ3)

## ベネッセハウス周辺 (ページ4)

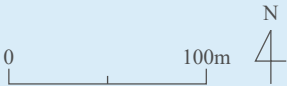


町営バスルート   
  ベネッセアートサイト直島場内シャトルバス (無料)

<b>A</b> 地中美術館チケットセンター から <b>B</b> 李禹煥美術館 ヴァレーギャラリー前 まで	徒歩 10分	バス 3分
<b>B</b> 李禹煥美術館 ヴァレーギャラリー前 から <b>C</b> ベネッセハウスミュージアム まで	徒歩 10分	バス 3分
<b>C</b> ベネッセハウスミュージアム から <b>E</b> つつじ荘 まで	徒歩 10~15分	バス 5分
<b>E</b> つつじ荘 から <b>F</b> 農協前 まで	バス 6分	徒歩 25分
<b>F</b> 農協前 から <b>G</b> 宮浦港 まで	バス 10分	徒歩 30分
<b>G</b> 宮浦港 から 直島銭湯「I♥湯」 まで	徒歩 2分	
直島銭湯「I♥湯」 から 宮浦ギャラリー六区 まで	徒歩 3分	



# 宮ノ浦エリア



町営バスルート

農協前 から 宮浦港まで

10分 30分

宮浦港 から 直島銭湯「I♥湯」まで

2分

直島銭湯「I♥湯」から 宮浦ギャラリー六区まで





3分

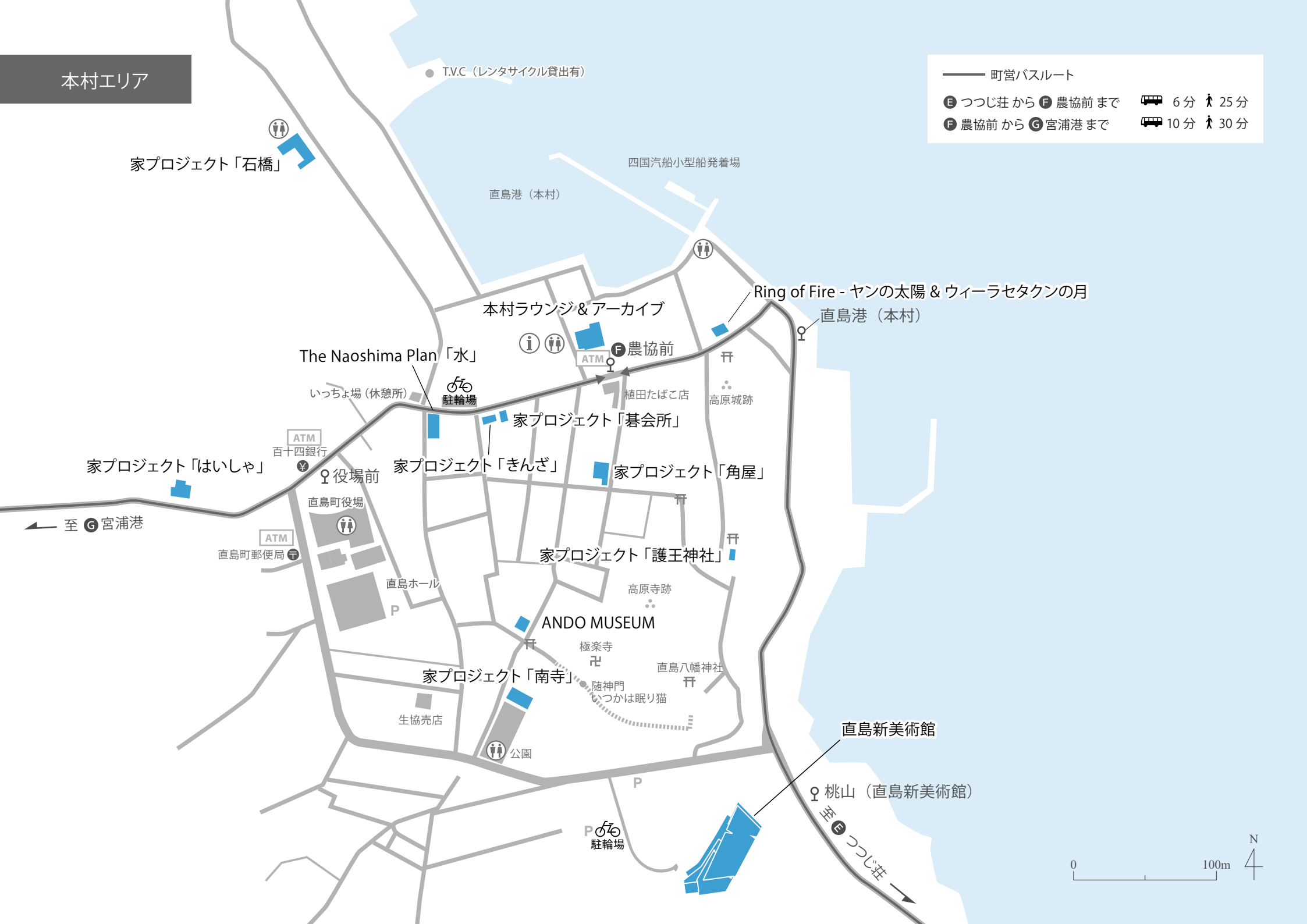
草間彌生「赤かぼちゃ」

直島パヴィリオン

# 本村エリア

町営バスルート

- E つつじ荘から ● F 農協前まで  6分  25分
- F 農協前から ● G 宮浦港まで  10分  30分



# ベネッセハウス周辺

至 F 農協前  
(家プロジェクト・ANDO MUSEUM 方面)



—— 町営バスルート  
----- ベネッセアートサイト直島場内シャトルバス(無料)

- A 地中美術館チケットセンター  
↑ 10分 車 2分
- B 李禹煥美術館  
↑ 10分 車 2分
- C ベネッセハウスミュージアム  
↑ 10分 車 2分
- D ベネッセハウスパーク  
↑ 6分 車 2分
- E つつじ荘  
↑ 25分 車 6分
- F 直島(本村)港  
↑ 25分 車 6分

## 屋外作品

- 1 草間彌生「南瓜」2022
- 2 カレル・アペル「かえると猫」1990
- 3 ニキ・ド・サンファール「会話」1991
- 4 ニキ・ド・サンファール「らくだ」1991
- 5 ニキ・ド・サンファール「象」1991
- 6 ニキ・ド・サンファール「猫」1991
- 7 ニキ・ド・サンファール「腰掛」1989
- ☆ 8 ダン・グラハム「平面によって2分割された円筒」1995
- 9 アンソニー・カロ「Final Call」1988
- 10 ジョージ・リッキー「三枚の正方形」1972-82
- ☆ 11 片瀬和夫「茶のめ」1987-94

## ☆ サイトスペシフィック・ワーク

- ☆ 12 ウォルター・デ・マリア「見えて/見えず 知って/知れず」2000
- 13 杉本博司「タイム・エクスポーズド ミルトア海 スーニオン」1990
- 14 大竹伸朗「シップヤード・ワークス 切断された船首」1990
- 15 大竹伸朗「シップヤード・ワークス 船尾と穴」1990
- 16 ジョージ・リッキー「フォー・ライズ」1978-88 (春から秋は展示中止)
- ☆ 17 蔡國強「文化大混浴 直島のためのプロジェクト」1998
- 18 杉本博司「タイム・エクスポーズド カリブ海、ユカタン」1990
- ☆ 19 小沢剛「スラグブツダ88-豊島の産業廃棄物処理後のスラグで作られた88体の仏」2006/2022
- 20 草間彌生「ナルシスの庭」1966/2022
- 21 三島喜美代「もうひとつの再生 2005-N」2001-2005

- 給水・ドリンク
- ☕ カフェ 🍴 レストラン
- 🛒 ストア/ショップ
- 🚰 水道水
- 📄 自動販売機



※つつじ荘近くの東ゲートから李禹煥美術館近くの北ゲートまではベネッセアートサイト直島の私有地エリアです。ベネッセハウス宿泊者以外の車両(自転車を含む)の乗り入れはご遠慮ください。ベネッセハウス周辺は屋外作品をみながらの徒歩での移動がおすすめです。オーバル・パーク・ビーチはご宿泊のお客様専用エリアです。杉本博司ギャラリーで鑑賞の方(事前予約制)はパークへご入館いただけます(但し、客室は除く)。エリア内へのお食事の持ち込み、ボール遊び等のご遠慮ください。